

○「東京農工大学第2期中期目標・中期計画について（研究）」

松永理事（学術・研究担当）

●目標・計画数（研究関係）

項目	目標	計画
研究の水準及び研究の成果等	2	4
研究の実施体制等	6	7

●研究の水準及び研究の成果等

- ・各々の研究分野で評価の高い学術雑誌への投稿を奨励し、優れた研究成果を増加。
- ・科学研究費補助金は、平均一人1件以上申請。また、各研究院における競争的研究資金等への申請を奨励。
- ・研究支援の取組の強化及び大型共同研究等の創出、公募型競争的資金等獲得のための施策の実施。
- ・新産業創出・活性化・技術革新に貢献するため、インキュベーション活動を活性化。

●研究の実施体制等

- ・農学研究院、工学研究院の設置及び部門や研究院の枠を越えた教育研究改革を推進するため、柔軟性の高い枠組みの構築。
- ・テニュアトラック制度、女性研究者の育成・支援システム等をより一層充実。
- ・研究院等において、自己点検・評価を基礎とする外部評価を平成25年度中に実施。
- ・知的財産の創出、取得、管理について、より適切な施策を立案し実施。また、農工大 TLO との連携強化により、知的財産の活用を推進。
- ・イノベーション推進プログラムを創設し、インターンシップ等を通じてイノベーションを創出できる人材を育成できる体制を整備。
- ・国際的な産学官連携活動の推進を図るため、海外機関と連携して海外研修プログラムを実施し、専門知識、経験及び交渉能力を有する国際イノベーション推進人材として育成できる体制を整備。

○「東京農工大学第2期中期目標・中期計画について（業務運営）」

西村理事（総務担当）

●目標・計画数（業務運営関係）〔※再掲した目標・計画は除く〕

項目	目標	計画
業務運営の改善	5	14
財務内容の改善	3	4
自己点検・評価及び情報提供	1	4
その他業務運営	7	10

●業務運営の改善

◇組織運営の改善

- ・教育研究組織の編成・見直し（BASE、MOT、センター等の組織改組の検討・実施）
- ・人事制度の改善等（全学卒の設定、テニュアトラック制度の運用等）
- ・その他の組織運営の改善等（学長裁量経費の維持、共有スペースの確保等）

◇事務等の効率化・合理化

- ・事務組織の再編

●財務内容の改善

◇外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加

- ・外部研究資金等の自己収入の確保を奨励

◇経費の抑制

- ・人件費の削減（H23年度までの「総人件費改革」）
- ・人件費以外の経費の削減（管理的経費の抑制）

◇資産の運用管理の改善

- ・資金運用・資産活用

●自己点検・評価及び情報提供

◇評価の充実

- ・第三者評価（H24年度認証評価、H26年度法人評価）の受審、自己点検・評価、外部評価の実施

◇情報公開や情報発信等の推進

- ・教育研究活動に係る情報発信、法人情報の公開

●その他の業務運営

◇施設設備の整備・活用等

- ・「キャンパスマスタープラン」等に基づく適切な整備及び維持管理

◇安全管理

- ・毒物・劇物等に係る講習会実施、防災訓練等

◇法令遵守

- ・研修会開催等

◇情報システムの整備充実と運用改善

- ・図書館と総合情報メディアセンターとの機能統合、遠隔講義環境等のシステム改善や教材開発支援等

第2期中期目標・中期計画の詳細は、本日記布した別紙資料をご参照下さい。また、第2期中期目標・中期計画及び東京農工大学ビジョンは下記のURLでご覧になれます。

http://www.tuat.ac.jp/outline/kei_hyou/cyuuki_20100401/index.html

○「東京農工大学第2期中期目標・中期計画について（広報・社会貢献・国際）」

小野理事（広報・社会貢献・国際担当）

●目標・計画数（広報・社会貢献・国際関係）〔※再掲した目標・計画は除く〕

項目	目標	計画
社会との連携や社会貢献	3	5
国際化	4	11

●社会との連携や社会貢献

- ・地域社会における学習活動の状況や要望などを調査分析し、地域貢献事業のあり方を検討
- ・本学ならではのフィールド（科学博物館やFSセンター等）を活用し、教育研究の成果を活用する講演会を実施。
- ・本学の研究成果等に係る情報を収集し、発信するシステムを構築して、本学の教育研究活動の状況を幅広い対象に紹介する取組の実施。
- ・東京農工大学出版会との連携強化で子どもたちの理科への関心を高める教材・資料等開発・普及。

●国際化

- ・協定締結校等との交流状況を調査・評価し、評価結果に応じ、取組の強化や協定の見直しを実施。
- ・研究内容や成果の紹介等をコンテンツとした短期集中国際交流プログラムを設け、協定締結校等との教員、学生交流を実施。
- ・協定締結校等との間で相互に教員を派遣するなど、組織的な教員交換プログラムを実施。
- ・海外リエゾンオフィスを活用した共同セミナー開催等の教育研究活動を実施。
- ・現地学生を対象とした留学コーディネートの実施。
- ・国際交流・留学生受入れに関する情報を簡単に得ることができるように、Webページを整備。
- ・農工大留学生の卒業生ネットワークのデータベースを構築。
- ・新たな英会話研修の実施、英語による窓口対応マニュアル(スキット集) 英文レターの文例集の作成。
- ・国際関係部署以外のスタッフ向け国際交流業務に係る短期学内研修の企画・提供。
- ・渡日・留学、宿舍入居、など各種事務手続き等の円滑化に向け、受入窓口業務を強化。